

コープで
広がる、
つながる

お買い物に笑顔と安心を届ける とちぎコープの「移動店舗」



「近所にお店がない」「高齢で運転が難しくなった」「重い荷物が運べない」――。

生活環境やライフステージの変化により、日々の買い物に困難を感じる方が増えています。そんな地域の困りごとに寄り添い、お買い物を応援するため、

とちぎコープの移動店舗は2017年7月にスタートしました。地域の皆さまに支えられ、この7月で活動開始から丸9年を迎えます。

現在はコープ鶴田店と越戸店を拠点に、専用車両を1台ずつ配置。宇都宮市、高根沢町、さくら市の一部地域を、平日の週5日、お約束した個人のお宅前を中心に1日6〜8箇所巡回しています。

小さな車両に詰まった「選べる楽しさ」

スピーカーから流れる童謡のメロディーと到着を知らせるアナウンス。それが「移動店舗」開店の合図です。小さな車両の扉が開くと、そこには野菜や果物、お刺身、お肉、お惣菜、さらには日用雑貨まで、豊富な品々がぎっしりと並びます。

移動店舗の品揃えは、約400品目・1000点以上。商品はすべてコープの店から直接仕入れ



理事会・監事会だより

第12回理事会

2026年5月8日(金)
理事20名中19名出席 監事5名中5名出席

議決事項

- 特定非営利活動法人とちぎ消費者リンク「役員候補者」の選出について
- 特定非営利活動法人ユニバーサル就労ネットワーク栃木「役員候補者」の選出について
- 栃木保健医療生活協同組合「役員候補者」の選出について
- 栃木県労働者福祉協議会第67回定期総会「代議員候補者」の選出について
- 株式会社コープエナジー「役員候補者」の選出について
- 2025年度剰余金処分(案)について
- 役員選任の件について
- 第37回通常総代会議案書について

報告事項

- 役員推薦委員(総代)の選出報告
- 役員推薦委員会の開催報告
- 監査報告
- 月度活動報告・連帯活動報告
- 2025年総合ネットワークシステム(顧客管理システム)ならびに新宅配基幹システムの本稼働延期について
- 監事申し合わせ(組員監事の在任期間に関する事項)の改定について
- 規程類の改定について
- 組員活動協議会報告
- 栃木県生協連月例報告

臨時監事会

2026年4月28日(火) 監事5名中4名出席

主な協議・報告事項

- 監査法人から2025年度の期末監査報告を受け、意見交換を行いました。

- 監査法人の2025年度の期末監査報告の方法および結果は相当であることを確認しました。
- 第37回通常総代会に提案される監事選任議案について協議・確認し、監事の同意書を代表理事理事長に提出しました。

臨時監事会

2026年5月8日(金) 監事5名中5名出席

主な協議・報告事項

- 2025年度監査報告書について協議・確認し、監査報告書を代表理事理事長に提出しました。
- 第37回通常総代会議案書について協議し、記載事項が適正であることを確認しました。

第12回監事会

2026年5月8日(金) 監事5名中5名出席

主な協議・報告事項

- 2025年度監事監査活動報告と2025年度監事監査所見を協議・確認しました。
- 2026年度監事監査活動方針と計画、2026年度監事往査事業所について協議・確認しました。
- 2026年度の監査法人報酬について協議・確認し、同意書を代表理事理事長に提出しました。

4月度決算 (2026年3月21日～4月20日)

組員員数	289,014人	(前月差836人増加)
出資金総額	88億7,019万円	(平均3万691円)
総事業高	24億4,343万円	(予算比98.4%)
宅配	18億9,920万円	(予算比98.0%)
店舗	5億2,637万円	(予算比100.1%)
経常剰余金	△1,702万円	(予算比114.3%)

リサイクル 4月の回収量

前年の同月に対して 増加 ↑ 減少 ↓

飲料用の紙パック	ペットボトル	たまごパック	食品トレー・容器	アルミ缶	商品カタログ	商品やカタログお届け用ポリ袋
6,472kg ↑	6,159kg ↑	972kg ↓	965kg ↑	820kg ↑	168,606kg ↓	1,938kg ↓

お客様との絆を育んで

た新鮮なものばかりです。販売担当とピッキング担当が協力し「毎週いらっしやるあの方は、このお豆腐がお好み」「暑くなってきたから今日はこれを多めに積もう」と、お客様一人ひとりの顔を思い浮かべながら商品を選び、積み込んでいます。

「利用される方の多くは高齢の方。車ならすぐの距離にスーパーがあっても、歩くには遠いし運ぶのも大変です。移動店舗でお買い物を楽しんでいただけたら嬉しいです」と販売担当の坂本さん。販売時にトラックにない商品でも、リクエストがあれば次回の巡回時にお持ちしています。そんな「御用聞き」のようなきめ細やかな対応で、お客様との絆を育んできました。「お買い物はもちろんだけど、坂本さんに毎週会えるし、ここで近所の人と顔を合わせて、おしゃべりするのが楽しいの」——そんな嬉しい声も届いています。

昨年(2025年)7月には宇都宮市と「移動販売を活用した交流促進・生活支援事業に関する協定」を締結しました。市のコーディネートにより、福祉施設など新たな停留場所での販売も始まっています。単なる「移動するスーパー」という枠を超え、地域の見守りや交流の拠点として、とちぎコープの移動店舗は、これからも皆さまの笑顔のために走り続けます。

